

# さけ・ます増殖振興調査事業

松本昌也・早川 豊・十三邦昭・上原子次男

黄金崎栄一・藤田修央

## 発 表 誌 名

昭和63年度・さけ・ます漁業振興事業調査報告書（青森県）、平成2年3月

## 抄 録

### 1. 環 境 調 査（P 1～5）

シロザケの沿岸滞泳期の海洋環境を明らかにし、津軽海峡における稚魚の生態を把握するため、大畑川河口周辺海域における、4月下旬から6月上旬までの、水温、塩分の測定及び丸稚ネットによる動物プランクトンの出現状況並びに稚魚の食性を調査した。

### 2. サケ稚魚標識放流調査（P 6～10）

稚魚の放流適期を解明するため、大畑川支流から標識魚を放流後、大畑及び下風呂地先に定点を設け、イカナゴ棒受網（夜間灯火）による稚魚の蝟集状況の把握、並びに標識魚の混獲状況、採集稚魚の尾叉長組成、稚魚の肥満度について調査し、環境調査結果との関連、昨年調査結果との比較検討を行なった。

### 3. 沿岸回帰親魚調査（P 45～53、P 64～89）

沿岸回帰したサケ親魚の年令組成の分析を行い、回帰生態を把握するため、県内9地区で10月から1月にかけて、魚体測定及び年令査定を行ない、59～63年度の5ケ年間での平均体重の変化、調査海域間の年令組成、回帰魚の尾叉長、近接2海域間の年令出現尾数、調査海域と近接河川間の年令出現尾数等について比較検討した。

また、資源特性を把握するため、地区別に外観的成熟度、卵重量と卵径、肝臓重量の測定並びに肉色を観察し、時期的変化と共に、外観的成熟度と測定項目との関係について比較検討した。